

# 駅・バス徒歩圏 新築分譲マンションデータ 2018

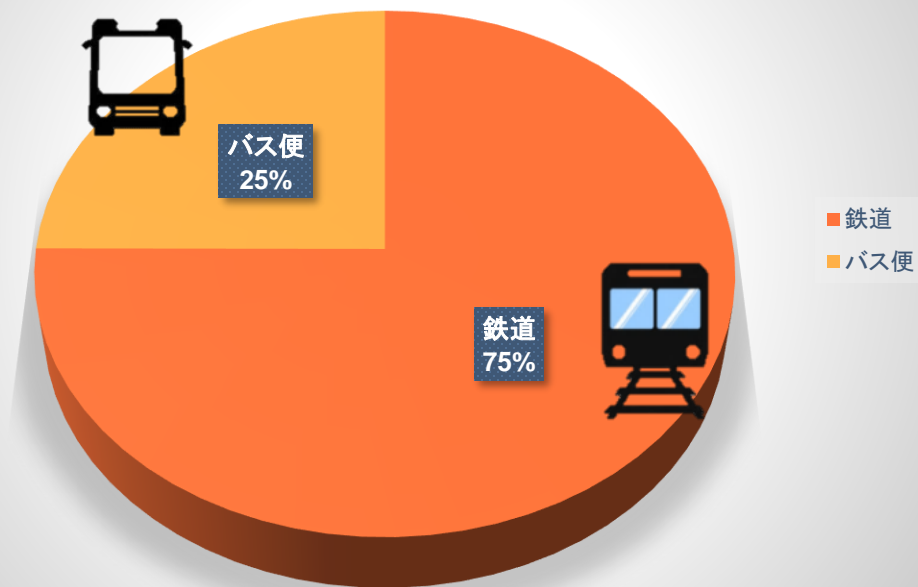
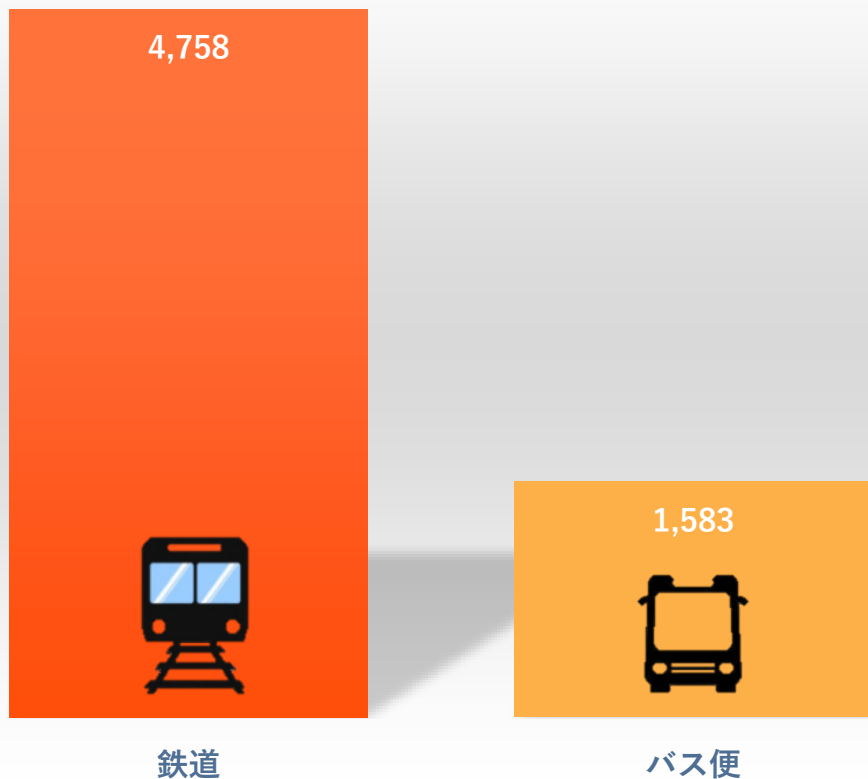


株式会社九州産業研究所

2019/2 集計

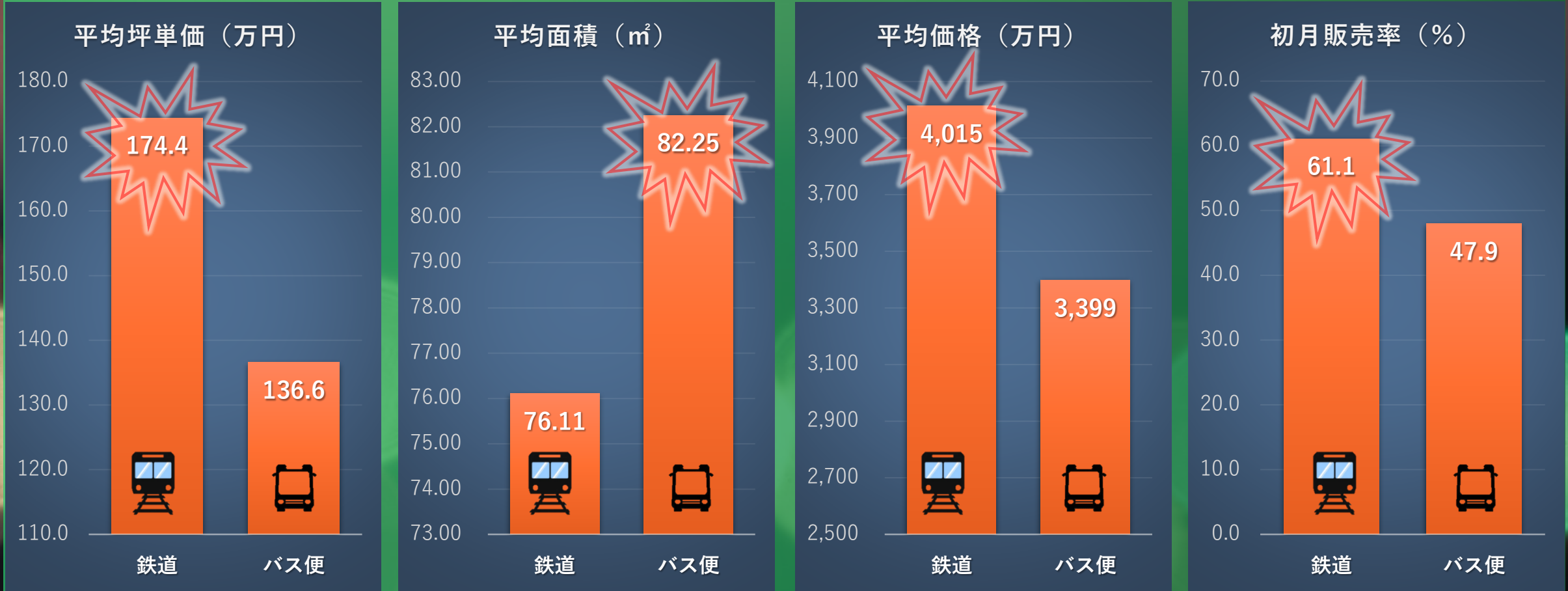
# 2018年の九州の新築マンションの鉄道物件とバス便物件の比率は？

供給戸数



昨年九州で供給された新築マンションのうち75%は鉄道便物件。バス便物件は25%。

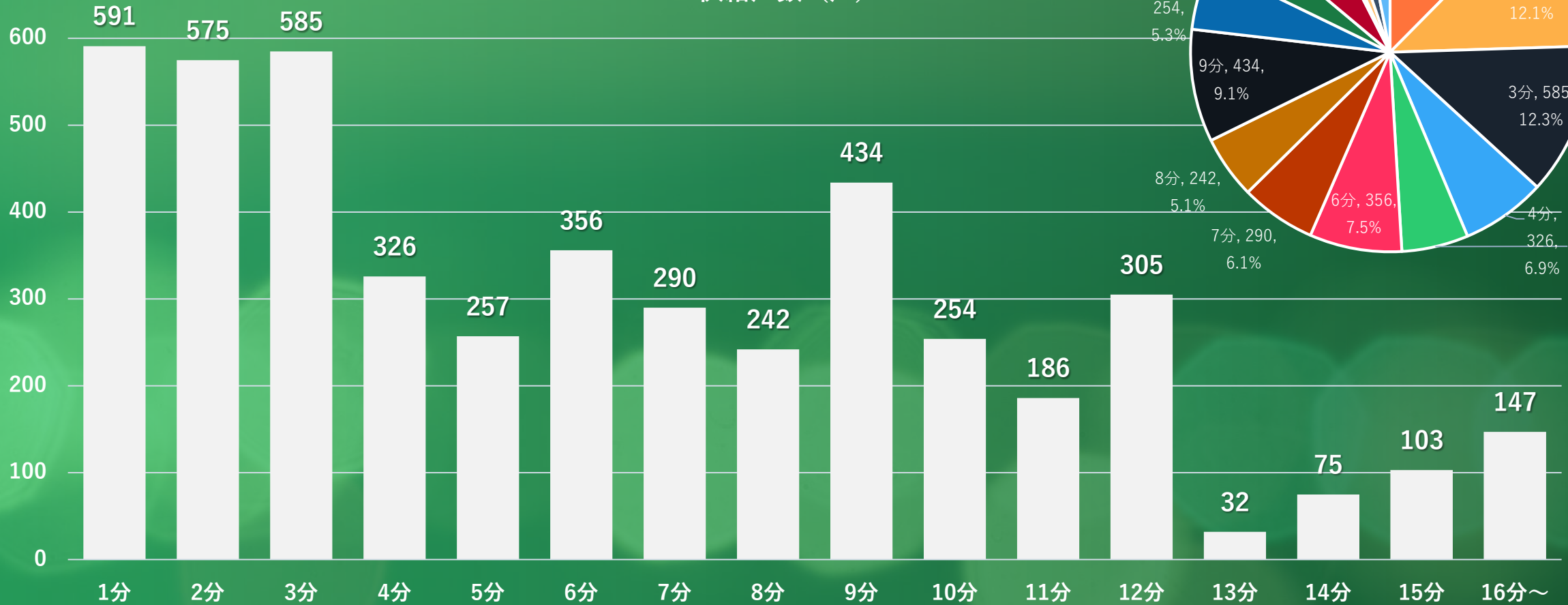
# 鉄道物件とバス便物件の違いについて



鉄道物件の単価と価格の高さは圧倒的。ただ面積はバス便物件の方が広い。  
初月の瞬発力は鉄道物件がバス便物件よりも13.2%も高い

# 鉄道物件の駅徒歩分数別供給戸数

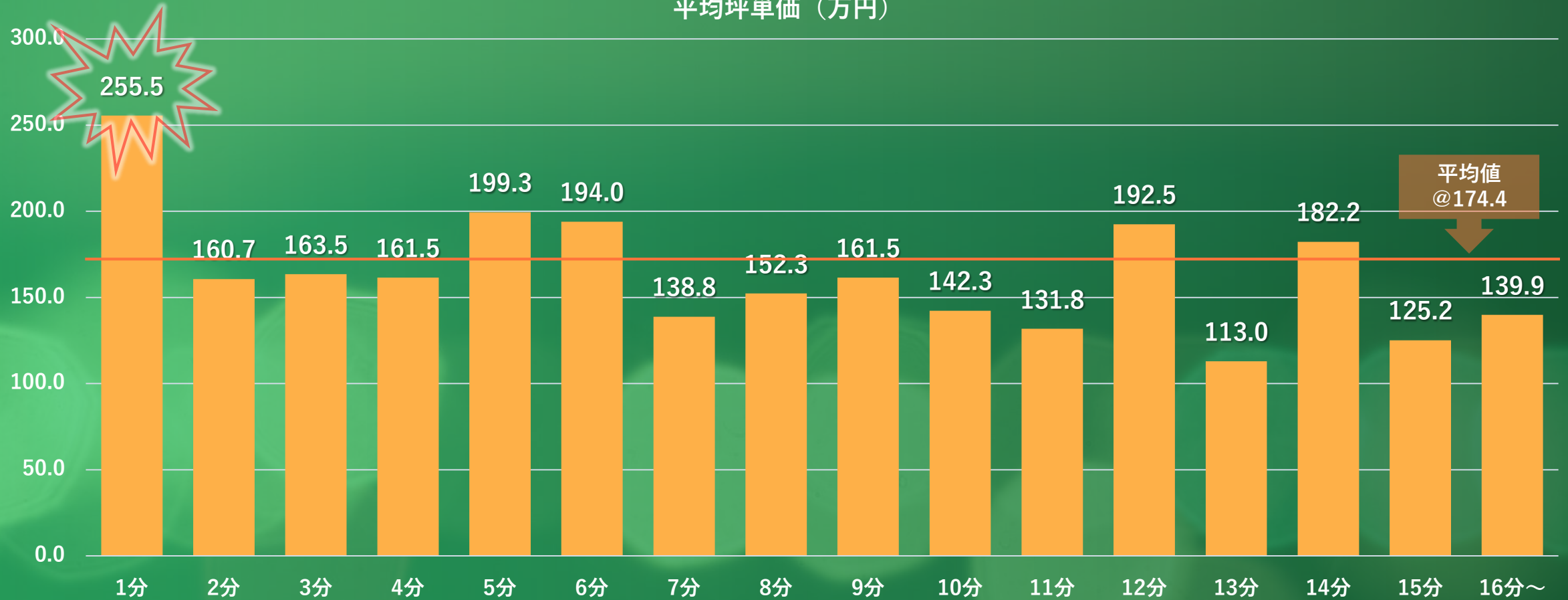
供給戸数（戸）



昨年九州で供給された鉄道物件の36.8%は駅徒歩3分圏の物件が多かった。

# 鉄道物件の駅徒歩分数別の平均坪単価

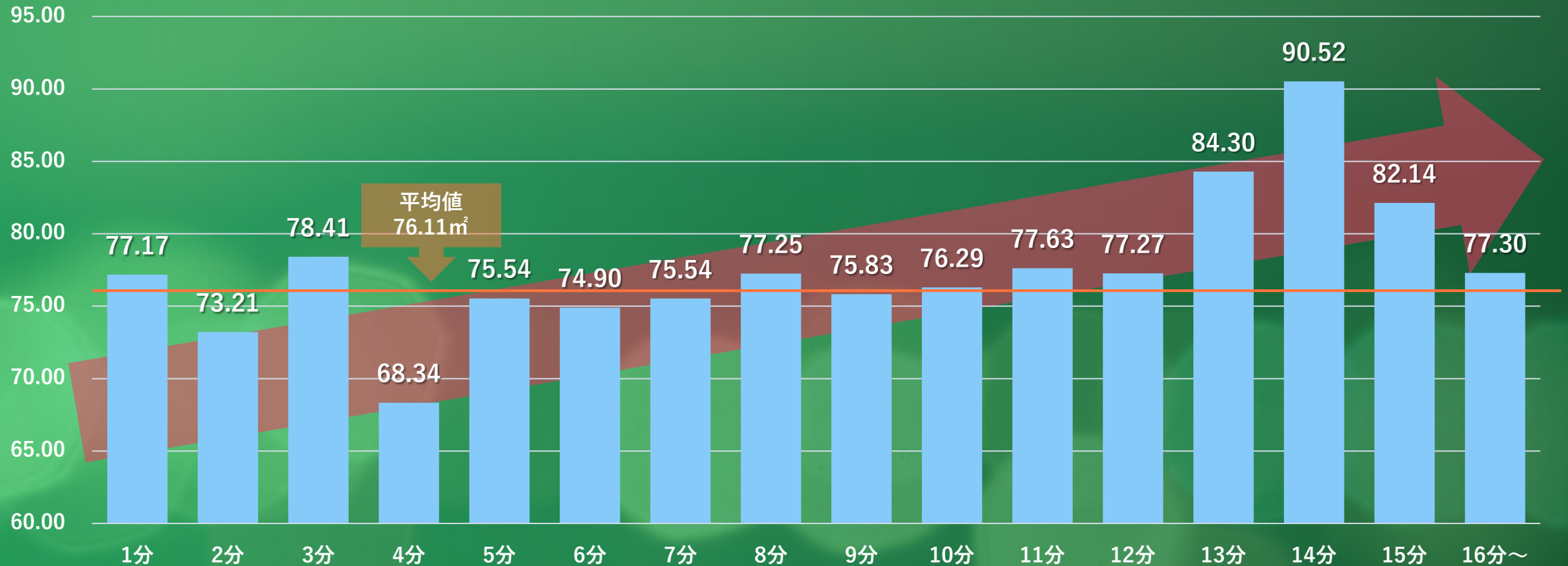
平均坪単価（万円）



駅徒歩1分の坪単価の高さは圧倒的！

# 鉄道物件の駅徒歩分数別の平均面積

平均面積 (m<sup>2</sup>)



駅遠距離物件ほど面積は広い！

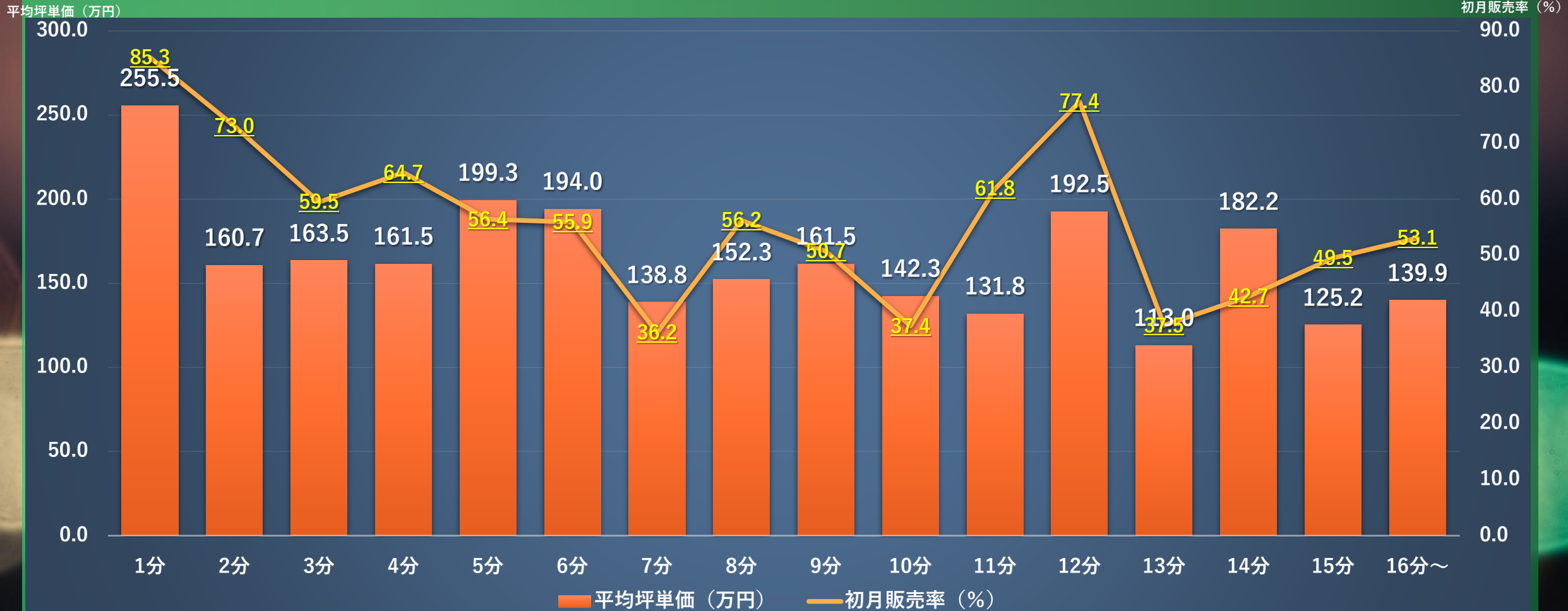
# 鉄道物件の駅徒歩分数別の平均価格

平均価格（万円）



駅徒歩1分の価格の高さは圧倒的！

# 駅徒歩分数×初月販売率の相関



駅チカ物件ほど人気が高く、離れるほど初月は鈍化。



# データについて

今回の集計したデータは2018年1月～12月の間に以下のエリアにて新規で供給された分譲マンションを対象に集計。

## 【対象エリア】

福岡都市圏、北九州市、久留米市、佐賀市、長崎市、熊本市、大分市、鹿児島市、宮崎市

## 【鉄道物件の定義】

パンフレット概要表に鉄道分数の記載があれば、その記載を基に集計。  
つまり、「●●駅徒歩15分」と記載されている物件であればそのまま鉄道物件としてデータ集計を行っている。

## 【データ使用について】

このデータの転売などは禁じますが、報道発表や営業ツールとしての利用などの利用は弊社のクレジット【株式会社九州産業研究所の「駅・バス徒歩圏新築分譲マンションデータ2018」より】を記載することでご利用可能です。